

# KGA

'93冬季号

1993年12月1日発行



NO. 45

## 目次

◎KGAレポート ハンディキャップは“一日にして成らず”	1
常務理事会・分科委員会	18
平成5年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技	3
お知らせ	20
平成5年度 関東グランドシニアゴルフ選手権	7
新規加盟倶楽部紹介	12

表紙photo 関東シニア・日光カントリー倶楽部（撮影・片山 稔美/KGA広報委員）

関東ゴルフ連盟

KGAレポート

KGA特別レポート

## ハンディキャップは“一日にして成らず”

文・宮元昭雄（KGA広報委員）  
写真・石川博英（KGA広報委員）



11月10日の今年度第3回ハンディキャップ委員会アンケートをもとに、今後の活動方針を討議。

ゴルフにとって、ハンディキャップは必要不可欠なものであるが、反面これほど厄介なものもない。

計算そのものは小学生の算数程度の簡単なものだが、数式を入れるスコア——これが問題である。

大げさに言えば、ゴルファー一人一人の人生観、プライド、利益……といった複雑な要素がからんでくる。単純な計算に至るまでの過程が問題なのである。

だからKGAハンディキャップ委員会としては、一人一人のゴルファーの事情は無視して（倶楽部の委員会に一定の責任と権限を与えて）、先ずは公正、公平、合理的（ということは、冷酷さにつながるか？）なハンディキャップ査定システムの確立を目指した。

それが、大型コンピュータを駆使して計算、査定する「KGAグリーンシステム」となった。このシステムをこれまで幾度か改良してきたが、今年は再構築にとりかかりほぼ理想的なものが出来上がった。そうなると次は、ハンディ

キャップの普及を目的とした啓蒙促進活動である。

ご承知のように、現在の「JGAハンディキャップの規定」は昭和53年に定められたものである。由来10余年“牛歩”のような進展であったが、倦まず撓まず努力した結果、ようやく別表のような実施率87%にたどりつくことができた。

### 準備は万全

これまで、委員会は3回（昭和62年、平成元年、4年）にわたってアンケート調査を行った。

実施調査が第1の目的であったが、回答によって、未実施倶楽部には各都県選出の委員が粘り強くその採用方を依頼し、また内容について問題のある倶楽部には、指導を行ってきた。平成2年には入会細則を策定し、JGAハンディキャップの採用を義務付け、入会条件とした。

だから平成2年以降に加盟した59倶楽部は100%実施している。

そして今年、前号で紹介したように「グリーンシ



パソコン4台を設置しての「新・グリーンシステム」のデモンストレーションほぼ理想的のシステムが完成した。

ステム」の再構築に取り組み、将来的には「いつでも、だれでも、どこででも」、取得できる内容となった。

準備は万全である。これからはこのシステムを使って「完全実施」の俱楽部を増やしていくことである。

### ハンディキャップはゴルフ発展の礎

さて、これまで11あるKGA分科委員会はともすれば横断的な活動に欠けるきらいがあった。お役所の「縦割り行政」ほどではないが、他委員会の活動には“われ関せず”的なところが多少あったことは否めない。

例えば新しい競技を企画するとなれば、競技委員会はもちろんのこと、ハンディキャップ委員会、コース選定委員会、財務委員会、広報委員会等の協議、協力なしには成し得ない。

そこで、ハンディキャップ委員会の永年の努力に

より、実施率87%となった今日、かねてより懸案となっていた「アンダーハンディ競技」の実施を前向きに検討することになった。具体的には競技、ハンディ両委員会より選ばれた委員により、「小委員会」が発足し、検討を始めると聞いている。

たしかにこれまでの競技はすべて「スクラッチ競技」であり、これでは一部の「腕利き」が、年とともに各種競技に移動していく構図となっており、真的国民スポーツとしてのゴルフの普及には物足りない面があった。そのため、KGA、JGAは一般ゴルファーに「無縁」の存在であり、目的とする事業展開には何かと不都合であった。

これからKGA、JGAの活動は一般ゴルファーの理解と協力なくして発展は期待できない。その意味でハンディキャップは、単に“ゴルフをより楽しく”プレーするためのものだけでなく、明日のゴルフ界の健全な発展の大きな礎となることは明らかである。

委員会の今後の活動を大いに期待したい。

### JGAハンディキャップ実施状況(11月10日現在)

県別	加盟俱楽部数	完全実施俱楽部	併用実施俱楽部	未実施俱楽部
新潟県	26俱楽部	18俱楽部	6俱楽部	2俱楽部
長野県	28 //	1 //	25 //	2 //
山梨県	15 //	2 //	11 //	2 //
群馬県	33 //	6 //	23 //	4 //
栃木県	76 //	29 //	32 //	15 //
茨城県	60 //	20 //	27 //	13 //
埼玉県	40 //	7 //	28 //	5 //
千葉県	75 //	37 //	28 //	10 //
東京都	14 //	2 //	12 //	0 //
神奈川県	35 //	9 //	25 //	1 //
静岡県	52 //	29 //	18 //	5 //
合計	454俱楽部	160俱楽部	235俱楽部	59俱楽部

\*北海道、東北の5俱楽部を除く。  
\*実施率87%  
\*完全実施 KGAグリーンシステム加入俱楽部  
併用実施 自社コン、手計算等による実施俱楽部  
未実施 コースレート未取得、リゾートコースその他

### ハンディキャップ委員会からのお知らせ

■アンケートの詳細な内容につきましては、9月30日全加盟俱楽部におとどけしております。必ずお目通し下さい。

■これまで、未実施俱楽部の会員が、JGAハンディキャップを必要とする場合(KGA主催競技出場等)所定の査定申請書をもって委員会にて査定を行ってまいりました。しかしこれはあくまで暫定措置であり、平成6年を移行期間とし7年より行わないこと

と過日の常務理事会で決定しております。したがいまして平成7年以降、未実施俱楽部の会員は主催競技に出場できないこともあります。これを機に採用実施方をご検討下さい。

■具体的な内容、方法等につきましては、各県委員、事務局にご相談下さい。説明会も随時行なっておりますのでご希望の向きはご連絡下さい。

## 平成5年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成5年9月27日(月) 28日(火)

●開催コース 日光カンツリー俱楽部 6,652ヤード パー72 18ホール ストローク・プレー



優勝はプレーオフの末 加部嗣男選手

### 史上初の3人によるプレー

文・宮元昭雄 (KGA広報委員)

写真・片山晴美 (KGA広報委員)

たった5歳という年齢差が、シニアのゴルファーにどのような波紋と変化をもたらすことになるのか。尽きない話題の中で平成5年度関東シニアゴルフ選手権競技は秋晴れの好天に恵まれた栃木県・日光カンツリー俱楽部(6,652ヤード・パー72)で行われた。結果は史上4回目のプレーオフで決着するという接戦となり久々に熱の入った競技であった。



左より加部、前川、上野選手

出場者の資格年齢を世界のそれに合わせるということで、これまで60歳以上という年齢制限から今年からは55歳となつたが、老いてなお盛んと豪語するシニアの士俵に肉体的にもまだ充分現役で活躍できる面々が、どっと出場することが予想され、開催前は関係者として、気をもんでいた。

そのため予選会場を、1会場増やして5カ所にす

るなど万全の体制で望んだが、いざ蓋をあけてみると、なんと予想を大きく下回った参加者に終わった。

理由はいろいろ考えられるが、つまるところ5歳も若返った現役組に交っては力の差が歴然としていて楽しくないという声が圧倒的だったのも理由のひとつだ。チャンスが遠のいたということを敬遠する者が出てきたことは事実かも知れない。

それでも昨年は72歳の山口梅吉氏が優勝、準優勝の岡野幸男氏は68歳だった。この両ベテランが60歳代前半の者たちを蹴散らして堂々の快勝だったことを考えると、果たしてゴルフは年齢が勝負を決める大きな要素なのだろうかと思いたくなるのである。

今年の決勝進出は154名うち棄権及び失格が8名含まれ、36ホールの決勝ラウンドを終えたのは146名。うち55歳から59歳までが93名も占め、上位20位までの中には60歳代は僅か2名という高齢組が総崩れとなった。

順天堂大学・スポーツ心理学の大田哲男名誉教授は『55歳のゴルファーは子育てと仕事に精一杯の力を発揮してきたその余韻がまだ生き生きと働き盛りの昭和フタケタ』

一方、60歳代は生理的下降線の自認をせまられ、いわゆる社会人として過去を切り捨てて自分に残されている半生を本当に自分からやりたいと思うことに捧げようとした決心をした年代だ。60歳と55歳、つまりゴルファーの5歳の象徴的差異は飛距離の55歳と寄せワゴンの60歳、30ヤード離されながら辛うじて寄せワゴンを決めて追っていく60歳の勇姿は痛々しく悲壯感がある』と指摘する。

何が起こるかわからないゴルフ、自ら育ててきた技量を信じながら果敢にチャレンジしていくゴルフ、だから何歳になってもゴルフは楽しいのかも知れない。次年度からシステムが変わる。より公平にしていきたい。（山田八郎KGA競技副委員長）という。つまり55歳から64歳まで、65歳から69歳まで、70歳以上と3組に分けて競技が行われることになる。今度は60歳代後半のクラスがどっと参加してくることになるだろう。平成6年度もまた楽しみな大会になりそうだ。

## あっけない幕切れ

さて競技を振り返ってみよう。初日、イーブンパーでトップに立った森泉 清（草津）を追って1差の前川武英（富里）との間に熾烈な戦いが予想されたが、5差で追っていた加部嗣男（東名）が12番ショートホール（215ヤード）でホールインワンを出してから順調にスコアを伸ばし始めた。また初日80と乱れた上野 進（高根）もバック・ナインを2アンダーの34で回るという爆発的スコアで追いつき、17番を終わって前川+7、森泉、加部、上野の3名は+8と1差の接戦となり優勝の行方は最終ホールに持ち込まれ、すでにホールアウトしていた加部、上野は前川、森泉の結果待ちだった。

昭和29年に開場以来、約40年という歴史の重みを感じさせるコースのレーアウト、霊峰男体山・赤薙・女峰と日光連山を背に広がった自然でフラットなコースは高低差50mといわれながらもその差を感じさせない。そして大きく伸びた松や柳の木立てコースはセバレーされており、その佇いはさすが北関東におけるチャンピオン・コースと評価が高いだけある。起伏の多いフェアウェイ、グリーンは男体山を背にして早いという意識を持った選手が多く、殆どの選手がアプローチに手こずってたいたようだ。

トップを走る森泉は午後に入ても確実にバーをセーブしていた。そして逆転が期待されていた前川は逆に10、11番と崩れ、勝負あったが見えたが14番のバーディーで息を吹き返した。一方、森泉は前半の堅実さが消え、逆にズルズルとスコアを崩し上野、加部の猛追で3人が一線に並び、1歩リードした前川の最終ホールのスコアいかんにかかっていた。



伝統の重みを感じるクラブハウスでの表彰式

最終18番ホール、1差抜け出していた前川の2打がわずかながらグリーンをオーバー、ここからの寄せが約2.5mピンをオーバーしており、ファースト・パットが入れば前川の優勝とグリーンを囲むギャラリーや応援の各選手が脚を飲んでそれを見守る。森泉はボギーとして圈外に去った。前川が外せば上野、加部、前川の3名によるプレーインフルだ。関係者があわただしくプレーインフル準備のために動き回っている。

年間10ラウンド、30年間ゴルフで鍛えて来たというベテランの前川には自信のほどが伺えたが球運はつれなく、2cmほどカップの左端に止まって万事休す、No.10（パー5）のティーグラウンドで待つ加部、上野とプレーインフルへと突入していった。

2人によるプレーインフルは過去3回あるが、3人によるプレーインフルは史上初めてだ。3選手とも堅さが残っていたのか、共に4オント出足から乱れたが3人のうち3打目を右バンカー（ピンまで30ヤード）に入れた加部がいちばん不利と思われたが、バーをセーブして他をふり切りあっけない幕切れとなった。

「息の抜けない苦しい戦いであった」とチャンピオンとなった加部選手は激闘の2日間を静かに振り返り、「日本シニアでも頑張りたい」と語っていた。

数々の話題の中でのシニア選手権だったが、大会を通じて気付いたことを1~2書いておきたい。

ベテランのゴルファーといわれながら、グリーン上のマナーが悪い選手もかなりいた。相手のパッティングラインやその視角に入る位置に平原と立っている選手が多い。自分自身のプレーに夢中になっていて相手のことなど気にしないようでは、相手にとっては極めて不愉快なプレーになるものだ。またスパイク跡の修理をめぐって、ペナルティーの判定にクレームをつけたり、「どうせ成績が悪いから、2



滝沢常務理事より 10回出場の特別表彰を受ける成宮秋良さん

ストロークつけられてもいいよなどと、目に余る言動の選手がいたことは残念である。暇のときはルーブックをよく見て勉強をして貰いたいものだ。また表彰式にいたっては遠いから早く帰るなどの適当な理由で欠席者が多くてた。メダリストもその席にいないなど、できるだけパーティーには出席してほしいものだ。シニアはマナーがよいと思われていただけに大変残念なことである。

今年の日本シニアへの出場枠は36位（昨年は45位まで）タイまでと関東では大幅に減らされた。

これは前年度の出場者と日本シニアの決勝ラウンド進出者の比率で地区連盟の出場枠が決まるわけだが、昨年関東は20名も欠場者が出てしまった、そのため今年は36位タイとされたものだ。理由はそれぞれあるにせよ、エントリー後に欠場したりすることは余程の事情がない限り参加するよう注意して貰いたいものだ。

今年の大会の背景にはこうした事情もあってか山田大会競技委員長は「全員参加して日本シニアのチャンピオンをKGAから出して欲しい」と檄を飛ばしていた。

ゴルフはマナーに始まるといわれる。せめてシニアはゴルファーの先達として後輩にその教えを導いていく責任がある。人間の形成を含めて、ゴルファーとしての真面目にふれる勉強もして貰いたいものだと痛感したことを書き加えて筆を置きたい。

## 平成5年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績

エントリー154名 出場者149名

順位	選手名	所属	属	第一ラウンド		第二ラウンド		合計	
				アウト	イン	アウト	イン		
1	加部 嗣男	東	名	35	42	77	36	39	152
2	上野 進	高	根	43	37	80	38	34	152
2	前川 武英	富	里	38	35	73	39	40	152
4	森泉 清	草	津	36	36	72	39	42	153
5	松本 圭右	桐	生	36	43	79	37	39	155
5	鹿屋 一郎	玉	造	38	38	76	36	43	155
5	大村 静	リバ	富士	39	37	76	41	38	155
8	河野 安男	江 戸	岡	39	40	79	37	40	156
8	網中 一郎	殿	ケ 間	41	36	77	39	40	156
8	鈴木 昭治	錦	子	38	37	75	39	42	156
11	小林 正義	東京五日市		38	39	77	39	41	157
12	傍島 輝雄	東 千葉		40	42	82	40	36	158
12	閑本 照文	照	江原	38	43	81	37	40	158
12	宮城 啓治	白 鳥		40	40	80	40	38	158
12	塙本 敬	加 茂		40	39	79	38	41	158
12	中田 次郎	横 浜		38	40	78	40	40	158
12	上條 忠治	河 口	湖	39	38	77	43	38	158
12	藤井 正義	スプリングフィールド		37	40	77	39	42	158
19	高橋 正敏	入 間		42	41	83	39	38	160
19	飯盛 節一	宇 都	宮	38	42	80	41	39	160
19	小山田孝士	宇 都	宮	38	41	79	42	39	160
19	田中 明夫	快 山		38	41	79	39	42	160
23	岡野 幸男	日 高		41	41	82	42	37	161
23	松本 康	茂 甘	楽	39	42	81	38	42	161

順位	選手名	所属	属	第一ラウンド		第二ラウンド		合計	
				アウト	イン	アウト	イン		
23	土居 衛	藤	ヶ 谷	39	42	81	42	38	161
23	佐藤 昌弘	日 光		39	41	80	41	40	161
23	田辺 雄一	飯	能	39	40	79	42	40	161
23	田口 喜三郎	水 戸		43	35	78	44	39	161
29	大林 仁	總	武	44	39	83	39	40	162
29	大久保幸次	日 高		41	41	82	40	40	162
29	小林謙次郎	廣済堂埼玉		41	40	81	41	39	161
29	長尾 忠隆	横 浜		39	41	80	40	42	162
29	山本 利次	真 名		40	40	80	37	45	162
29	鈴木 軍治	抽 ケ 浦		37	42	79	41	42	162
29	竹村 茉雄	大 利	根	38	41	79	41	42	162
29	茂田 富造	戸 塚		40	36	76	44	42	162
37	山下 進也	相 模	原	40	42	82	41	40	163
37	波 和二	寄 居		40	44	84	40	39	163
37	山路 勤一	廣済堂埼玉		39	43	82	40	41	163
37	小川 博道	多 摩		39	42	81	39	43	163
37	平山 定光	塙 原		40	40	80	41	42	163
37	勝俣 忠喜	富 士		38	40	78	42	43	163
37	小坂 孝二	八 王	子	38	39	77	40	46	163
44	伊藤 義夫	千葉廣済堂		40	42	82	41	41	164
44	勝本 正明	磯 子		42	42	84	40	40	164
44	鈴木 正治	府 中		42	39	81	38	45	163
44	田口 敬祐	塙 大熱海国際		41	40	81	41	42	164
44	佐々木喜堂			38	42	80	42	42	164

## 平成5年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

順位	選手名	所 属	第一ラウンド		第二ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
44	三塚 康輝	水戸	39	38	77	40	47	87	164
50	酒井 佐之	取手国際	39	44	83	41	41	82	165
50	井出 幸夫	サニーサーク	41	40	81	42	42	84	165
50	波多野康二	東京	39	42	81	42	42	84	165
50	金本 浩明	横浜	42	43	85	40	40	80	165
50	安藤 正義	南魔城	43	38	81	42	42	84	165
50	森 茂男	立川国際	40	40	80	42	43	85	165
50	新井 智仁	中津川	37	41	78	44	43	87	165
57	松岡 和成	東京よみうり	40	43	83	41	42	83	166
57	大島 治義	岡田チサン	41	41	82	41	43	84	166
57	三部 明光	唐沢	41	41	82	41	43	84	166
57	田辺 進	東名厚木	41	41	82	45	39	84	166
57	相良 清	中山	41	43	84	42	40	82	166
57	岡部善三郎	中津川	38	44	82	41	43	84	166
57	白石 労郎	茨城	43	42	85	42	39	81	166
57	吉田 正昭	東松山	37	44	81	44	41	85	166
57	永井 重吉	横須賀	43	43	86	36	44	80	166
66	羽川 みつる	沢	41	42	83	42	42	84	167
66	岩間 岩平	船橋	42	41	83	42	42	84	167
66	山田 伸弘	武藏	42	40	82	43	43	85	167
66	谷間 芳明	真名	42	41	83	41	43	84	167
66	中村 正利	東京国際	38	45	83	40	44	84	167
66	鈴木 陸郎	筑波	40	41	81	40	46	86	167
66	山崎 博晴	富士	43	42	85	38	44	82	167
66	木村 俊夫	大相模	41	40	81	44	42	86	167
66	後藤 良平	桜	39	41	80	43	44	87	167
66	龍川 茂美	戸塚	46	40	86	39	42	81	167
76	ミ崎 富夫	武藏野	39	44	83	41	44	85	168
76	初見 为治	大利根	41	41	82	42	44	86	168
76	良元 昌伸	利根	40	43	83	43	42	85	168
76	小林 智長	静浦	40	42	82	44	42	86	168
76	松本 直行	船橋	40	44	84	43	41	84	168
76	山内堅太郎	大相模	40	44	84	39	45	84	168
76	望月 駿	戸塚	39	42	81	37	50	87	168
76	森田万寿雄	南総	44	41	85	42	41	83	168
76	鈴木 健明	杉ノ郷	39	42	81	43	44	87	168
76	唐崎 精剛	葉山国際	41	45	86	39	43	82	168
86	片倉 和三	朝霞シャンボリー	42	40	82	42	45	87	169
86	松尾 吉夫	総武	41	43	84	42	43	85	169
86	成宮 秋良	横浜	41	40	81	45	43	88	169
86	藤井信之助	長太郎	41	44	85	42	42	84	169
86	高橋 佑吉	東松山	41	44	85	40	44	84	169
86	大島 寛治	鴻巣	46	44	90	38	41	79	169
92	城之内鏡夫	セントラル	40	43	83	42	45	87	170
92	矢崎 正一	東松山	42	41	83	44	43	87	170
92	加々美幸男	川越	41	41	82	46	42	88	170
92	三橋 裕	本厚木	42	42	84	44	42	86	170
92	義沢 伸良	大相模	43	38	81	47	42	89	170
92	山野辺邦夫	袖ヶ浦	39	42	81	42	47	89	170

予選メダリスト：第1ブロック（青枠）鈴木正治（府中）68ストローク  
 第2ブロック（大千葉）井出幸夫（サニーサーク）71ストローク  
 第3ブロック（平塚富士見）金本浩明（横須賀）74ストローク 加藤剛男（東名）74ストローク 二階堂勤二（大熱海国際）74ストローク 大川栄之（函南）74ストローク  
 第4ブロック（セントラル）竹村道（大利根）75ストローク 白石邦郎（茨城）75ストローク 志田達（ザ・レイクス）75ストローク  
 佐藤昌之（茨城）75ストローク  
 第5ブロック（鬼怒川）佐藤昌弘（日光）78ストローク 鈴木健明（杉ノ郷）78ストローク 鹿児島一郎（玉造）78ストローク 平山定光（塩原）78ストローク  
 松本左右（柳生）78ストローク  
 部門別優勝者：65歳以上の部 岩坂昭治（白鳥）158ストローク  
 60歳以上64歳以下の部 網盛一（宇都宮）160ストローク  
 55歳以上59歳以下の部 加藤剛男（東名）152ストローク  
 決勝競技10回：出場者表彰 成宮秋良（横須賀）

## 平成5年度 関東グランドシニアゴルフ選手権

- 開催日 平成5年10月22日（金）
- 開催コース 霞ヶ関カントリークラブ 6,179ヤード パー72 18ホール ストローク・プレー

掉尾を飾る  
“気の許せない”競技

文・写真 石川博英（KGA広報委員）

「グランドシニア」は数多い連盟主催競技の中で、  
もっとも気を使う競技である。

なぜなら

- 1.あたりまえの事だが、出場者が高齢である。
- 2.しかもゴルフ界の発展に貢献した功労者や、かつての栄光のプレーヤーが目白押しに出場する。
- 3.各界で功なり名遂げた人たちなので、なにごとにつけ一家言を持っている。
- 4.自信と頑固さに裏づけられたプライドの持主である。

このような人が200名ちかく一堂に集り、日頃の技を競うのであるから、競技委員、事務局の気配り目配りは並たいていなことではない。

スタート前は柔軟で好々爺ぶりを發揮していた人も、ひとたびティグランドに登るやたちまち若き日の精悍な表情にもどる。

大会関係者はひたすら  
“無事”を祈っていた

いささか旧間に属するが、我孫子ゴルフ俱楽部での開催した時の事。スタート担当の競技委員（この人も60歳を過ぎたシニア）が、注意として“今日は、ごらんのように出場者が多いのでプレーの迅速化にご協力下さい”と言ったところ、



2連覇を果した成宮秋良さん

“なにっ、それじゃポンポン打って、グルグル廻ってこい、スコアはどうでもよいと言うのか”と一喝された。

また、前の組と2ホールも間があいたものの、悠然とプレーをつづけるパーティに注意したところその中の1人がこっと笑って“いやいや、後の組が遅いので、私たちもそれに合わせているのです”と思わず絶句するようなおかしな理屈でやられた。こうなると苦笑してひき下がらざるを得ない。

ことほど左様に“一筋縄”でない面々だから、関係者はなにはともあれ、無事に全員ホールアウトすることを祈りながら長い一日を過ごすことになる。

## 実施規定変更 全員出場を認める

今年は出場有資格者をJGAハンディキャップ18としたものの、申込者は208名と史上最多であった。このことは予想されていたことなので、実施規定には出場者は180名以内とし、越えた場合は、

イ.JGAハンディキャップ上位者を優先する  
ロ.同ハンディの者が180名を越えた場合は抽選とする  
とした。

ところが、申込者のうちハンディ15までの人か176名、となると16~18の34名の中から4名を抽選ということになる。

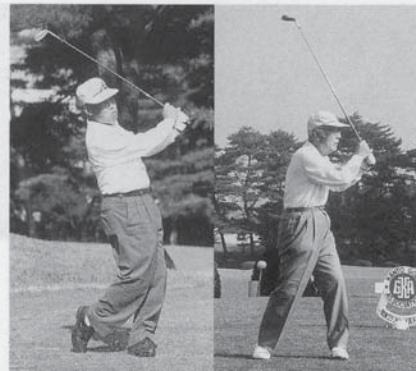
この中には開催俱楽部の霞ヶ関のメンバー（6名）、10回出場表彰の対象者、かつてのチャンピオンといった常連や顔なじみの人がほとんどである。

事務局から報告をうけた競技委員会は、“実施規定どうりの抽選派”と、“いやいや、カットするのは見るに忍びない。毎年、一雨降れば10名の欠場者が出来るから全員出場させよう”という意見に分かれてしまった。最後は尾関競技委員長、河西顧問（グランドシニア競技委員長）に一任され、

・平成6年度により日本グランドシニア選手権が開催されることが決定しており、本競技は今年度をもって最後の大会とも考えられる。したがって、開催俱楽部に協力をお願いし、1番スタートは午前7時とし、全員を出場させる、  
ことに決定した。

### 猛省すべし“無断欠席者”

さて、競技は188名の出場者がアウト・インに分かれ7時にスタートした。下馬評では、シニアの優勝経験者であり、今もって関東例で入賞している“初年兵”岡野幸男（日高）が本命と目されていた。



優勝した成宮秋良さん（左）と最年長（90歳）鈴木太郎さん（右）のショット

しかし、午前中で42もたたき、優勝戦線から早々と脱落した。89、90、91年3連続優勝した山口梅吉（大厚木）も今年は日頃のさえが見られず、午前39たたき、これまた脱落した。かわって鷹之台の木元栄次がアウト35でわり、トップにおどり出た。しかし午後は43、5位で終った。

優勝は成宮秋良（横浜）、昨年につづき2連覇を果した。ショット、パットとも安定し、危なげない勝利であった。とくに、4番（126ヤード）、5番（483ヤード）は連続バーディ、最終ホールをバーディーで上れば71のエージェンシー達成の期待がかけられたが、おしくもカップを舐めてバーにとどまった。“ここ何年かは成宮時代”と言うのがベテラン競技委員の戦評であった。

末筆になったが苦言を一つ。



いつもながら同窓会を思わせるなごやかなパーティー

競技終了後の表彰式、パーティの欠席者が今年は目立って多かった。スコアカード集計所には“欠席の場合は本部に届けであること”と掲示してあるにもかかわらず、無断欠席者が80名ちかくいた。これまで、シニア、グランドシニアのマナーはさすがと言われてきたが、今年はこんな有様であった。開催俱楽部はグランドシニアということもあって、全員着席できるようにテーブルを用意したが、前記のような次第である。無断欠席者には猛省をうながしたい。



特別表彰を受けた3氏 左よりエージェンシー内山正寄、10回出場の有光九州男、山口 澄さん

### 平成5年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表 エントリー208名 出場者188名

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計	順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	成宮 秋良	横浜	34	38	72	36	毛利 好	岡部チサン	42	43	85
2	芝入 俊雄	姫ヶ崎	38	37	75	36	櫛引 大吉	狭山	42	43	85
3	高木 庄	杉ノ郷	39	37	76	36	中村 正信	我孫子	41	44	85
4	山田真早志	鷺之台	38	39	77	36	山口 重次	常陽	43	42	85
5	木元 栄次	鷺之台	35	43	78	36	新井 康之	立川国際	43	42	85
5	横山 寛	鎌ヶ谷	39	39	78	36	重崎 伸矩	相模原	42	43	85
7	浜野 賢	レインボーパーク	40	39	79	36	鈴木 富	黒磯	45	40	85
7	山口 梅吉	大厚木	39	40	79	36	染井 三郎	東名厚木	40	45	85
7	内山 正寄	桜ヶ丘	41	38	79	46	鶴岡 正男	舞鶴	43	43	86
10	本吉 敏男	東京	41	39	80	46	上野 明	成田ハイツリー	45	41	86
10	塙 茂生	霞ヶ関	40	40	80	46	佐藤 進	中山	42	44	86
10	鈴木 政伊	相模	38	42	80	46	大森 利郎	平塚富士見	43	43	86
10	永井 雅夫	東京国際	38	42	80	46	斉藤 實	嵐山	42	44	86
14	岡野 幸男	日高	40	42	82	46	中村 實	大相模	44	42	86
14	松野 京三	我孫子	40	42	82	46	林 義一	鎌ヶ谷	42	44	86
14	固本 正良	千葉葉	39	43	82	46	目崎 隆司	我孫子	41	45	86
14	夢沼 賢二	唐沢	41	41	82	46	小田 寿雄	柏	43	43	86
14	頼 俊文	小金井	40	42	82	46	藤形 権一	長野	44	42	86
14	篠原喜和治	武藏	44	38	82	56	荻津 邦	水戸	44	43	87
14	平山 信一	青梅	45	37	82	56	大原 博	虹ヶ丘リングス	43	44	87
14	武石 小二郎	烏山城	44	38	82	56	宗光 厚	水戸	44	43	87
14	井上 興	東京国際	39	43	82	56	倉田 金造	常陽	45	42	87
14	菅沼 重男	本厚木	40	42	82	56	四脇喜太郎	袖ヶ浦	44	43	87
14	廖 西国	大厚木	38	44	82	56	眞貝 一郎	千葉国際	41	46	87
14	井上 刚彦	相模原	43	39	82	62	前田礼一郎	我孫子	43	45	88
14	小林 寿明	赤城国際	39	43	82	62	阿部 三郎	霞ヶ関	45	43	88
27	神林 錠	我孫子	42	41	83	62	小林 健祐	柏	43	45	88
27	松井 一彦	立川国際	42	41	83	62	藤原 良光	東京国際	45	43	88
27	古口 交志	ダイヤクリーン	42	41	83	62	大竹 栄一	武藏	40	48	88
30	鈴木 勤三	青梅	44	40	84	62	河原 克次	茨城	45	43	88
30	井筒 武男	飯能	42	42	84	62	押谷七兵衛	袖ヶ浦	41	47	88
30	石村 静雄	嵐山	43	41	84	62	井上 朗	姉崎	44	44	88
30	深山 昌	袖ヶ浦	42	42	84	62	矢澤龍吉郎	霞ヶ関	42	46	88
30	富永 和良	袖ヶ浦	44	40	84	62	笠原 貞夫	日高	41	47	88
30	三輪雄次郎	霞ヶ関	42	42	84	62	日下石廣美	嵐山	41	47	88
36	笠川 猛	千葉葉	43	42	85	73	川口 修	鎌ヶ谷	43	46	89
36	茅野 実平	諏訪湖	41	44	85	73	松山 七守	皆川城	45	44	89

## 新規加盟倶楽部紹介

平成5年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
73	本橋 久雄	江戸崎	42	47	89
73	根岸 秋治	桜ヶ丘	43	46	89
73	森 俊雄	武藏	41	48	89
73	荻野 信男	日光	44	45	89
73	大澤 武次	越生	46	43	89
73	浜田 良雄	武藏	46	43	89
73	大場角次郎	東京	45	44	89
73	長谷川 清	大利根	46	43	89
83	高橋 敬司	入間	46	44	90
83	香取 孝和	船橋	43	47	90
83	池田 善彦	八王子	45	45	90
83	江波戸秀明	東京国際	46	44	90
83	閑谷 茂雄	袖ヶ浦	44	46	90
83	三輪善兵衛	程ヶ谷	44	46	90
83	坂井 敏男	日高	45	45	90
83	小宮 五郎	嵐山	42	48	90
83	蜂谷 三郎	日高	46	44	90
83	鳥羽瀬 毅	市原京急	46	44	90
83	清水 武男	水戸崎	45	45	90
94	小坂 季一	龍ヶ崎	45	46	91
94	林 陸郎	大利根	46	45	91
94	奥山 巖	東京	48	43	91
94	川津 保	嵐山	49	42	91
94	山口 栄寿	唐沢	45	46	91
94	長島 喬	紫	41	50	91
94	新井 邦史	あさひヶ丘	46	45	91
94	白倉 久	甲府国際	45	46	91
94	菅沼 計二	舞鶴	45	46	91
94	佐志田虎雄	飯能	47	44	91
104	梶山 哲二	東京国際	47	45	92
104	宮尾 和夫	津久井湖	47	45	92
104	山口 実身	白鳳	46	46	92
104	西村幸八郎	津久井湖	48	44	92
104	山口 澄	ニューセント・アンド・リース	45	47	92
104	小林久次郎	長野	43	49	92
104	渡辺長四郎	飯能	45	47	92
104	岡安 功	廬之台	45	47	92
104	首藤 利夫	武藏	47	45	92
104	萩原 貢	千葉	47	45	92
104	渡辺 要三	泰野	42	50	92
104	安沢 宗喜	日高	50	42	92
104	和田 年弘	霞ヶ関	46	46	92
104	大田 勝郎	横浜	45	47	92
104	田口 正男	霞ヶ関	48	44	92
104	安川 泰	東京	46	46	92
120	寺田 正二	霞ヶ関	48	45	93
120	中村甲太郎	湯河原	47	46	93
120	齊藤 弘植	霞ヶ関	49	44	93
120	青木 敏夫	愛鷹	49	44	93
120	佐伯 博司	武藏	45	48	93
120	青山 邦夫	日本	45	48	93
126	田原 和夫	白鳳	45	49	94
126	大内田栄熊	日本	47	47	94
126	内田甲子雄	日高	49	45	94
126	齊藤 光次	東京国際	44	50	94
126	谷下 勝一	新千葉	47	47	94
126	森田 真平	皆川城	47	47	94

特別表彰「10回出場記念」  
「エージェンシー」(79ストローク) 内山正寄  
ありふれ九州男山口澄  
有光

### 神鳥谷カントリークラブ



#### 1. 倶楽部名 神鳥谷カントリー倶楽部

住 所 栃木県小山市大字神鳥谷2243番地  
電 話 0285-28-3303

#### 2. 開場年月日 平成3年11月3日

#### 3. 理事長名 石井多加三 (T.4.2.14)

倶楽部代表者 石井多加三、佐野光男

#### 4. 倶楽部分科委員長 選任中

#### 5. 支配人名 渡野義昭 (S.16.7.29)

#### 6. 倶楽部概要

当俱楽部は栃木県南部に位置し、東北自動車道佐野・藤岡ICから約30分、東北新幹線・JR宇都宮線小山駅から10分の小山市郊外に所在。

コースは総面積90万m<sup>2</sup> (約27万坪)、高低差2メートルの綺麗な平地林に、安田幸吉、故川村四郎両氏の設計・監修による「人ととの出会いと語らいの場の演出」を基本理念とした18ホール、6,811ヤード、パー72のコースです。オードソックスでありながらも、戦略性に富み個性的で、まさに、自然と対話し、知と技を傾けるゴルフの醍醐味が堪能できます。

アウトコースはフラットな地形を活かし、大小さまざまな池やバンカーを効果的かつ大胆に配置しました。アベレージゴルファーにも、比較的攻略しやすいコースです。

インコースではやや難度の高いホールが続きます。特に14番と16番は、それぞれ458ヤード、461ヤードのパー4となっており、十分距離がある上に微妙なアンジュレーションがほどこされています。戦略を練り、狙いを定めた正確なショットが要求されます。

クラブハウスは約3,800m<sup>2</sup>で御影石の壁と緑青色の屋根のコントラストが洒落た建物で、栃木県マロニエ建築賞で審査委員会賞を受賞しました。レストランは帝国ホテルから派遣されたシェフが四季折々の旬の素材に腕を振るう、豊潤な味覚をお楽しみいただけます。

### 北浦ゴルフクラブ



#### 1. 倶楽部名 北浦ゴルフ倶楽部

住 所 茨城県行方郡北浦村山田2423  
電 話 0291-5-1900

#### 2. 開場年月日 平成3年10月10日

#### 3. 理事長名 中野孝太郎 (T.4.4.3)

倶楽部代表者 中野孝太郎、黒沼萬治

#### 4. 倶楽部分科委員長

フェローシップ委員長 高橋弘篤  
ハンディキャップ委員長 大政正二郎

#### 5. 支配人名 岩堀 明 (S.25.4.8)

#### 6. 倶楽部概要

ゴルフ場は、茨城県南部（北浦の西側）に位置し、都心から2ルート、東北自動車道潮来ICから25分、常磐自動車道土浦北ICから45分で到着する。

コースは、田中常雄氏の設計でティとグリーンの高低差が15m以内、総面積90m<sup>2</sup> (約27万坪) の雄大な土地に、18ホール、7,030ヤード、パー72 (コースレート72.3) のオードソックスなコースである。

グリーンはサンドグリーンのペントと高麗の2グリーン。

ホールの特徴は、全体にフラットでフェアウェイの幅も広く思い切ったティーショットが楽しめるが、風が常に北浦から吹いているので気の抜けないホールが続き、特にインコース14番、16番-18番は難易度が高くなっている。

クラブハウスは、延べ約4,500m<sup>2</sup> (1,360坪) あり、英・仏調の石造りで、外観をレンガ積みとしている。2階の談話室は落ち着いた雰囲気が出ており、プレー後の語らいに最適の場である。

昨年はオープン2年目ながら「第4回デュボンカップ日米シニアゴルフ選手権」が開催され、日米それぞれのトップシニア8名、約16名が競う「場」となり日米両国の交流親善に寄与することができた。本年も11月12日～14日までの3日間開催された。

## 新規加盟俱楽部紹介

### イーストヒルゴルフクラブ



をシンボライズしたもので日本を代表する国際的デザイナー、亀倉雄策氏のデザインによるものです。

### 桂ヶ丘カントリークラブ



- 俱楽部名 イーストヒルゴルフクラブ  
住 所 新潟県北蒲原郡安田町大字保田字長峰5107-7  
電 話 0250-68-5100
- 開場年月日 平成4年4月5日
- 理事長名 平山敏雄 (T.9.10.26)  
俱楽部代表者 野崎正平 佐藤 功
- 俱楽部分科委員長  
競技委員長 川崎松雄  
ハンディキャップ委員長 小黒 博  
コース委員長 五十嵐庸吉  
キヤディ委員長 藤 正彦  
ハウス委員長 関川昭治  
エチケット・広報委員長 坂井熙一
- 支配人名 設楽 進 (S.13.1.2)
- 俱楽部概要  
県都新潟市の中心地より30km、車で約40分のところに位置しているが、平成6年度の盤越高速道路部分開通により、新潟市街地から20分のアクセスとなる好立地。

コース設計はハイテクノロジーを活用した独自のコース設計及び自然環境のプロデュースを得意とする小室嘉彦氏。地形はいわゆる山岳といわれるものであるが、出来上がったコース全体はフラットな丘陵コースである。全18ホールズはアウトコース、インコースのそれぞれが9ホール単位の別個のコースではなく、あくまでホールすべてが連鎖するリズム感とストーリー性が特徴。大きく分けてアウトは、山の景観と調和した林間コース。インコースは、距離、フェアウェイの幅も大きく、水をとり込んだコースになっている。そして、それぞれのコースのどのポジションからみても、周囲の自然とベストマッチし、爽快さいっぱいのコースである。

ハウス設計は、アソシエティド・アーキテクツ設計事務所が担当し、外観はコンクリートの打ち放して都会のロフト（倉庫）風でシンプル。それが周囲の景観と融合しており、建物中央の吹き抜けから1年中陽光が降り注ぎ、中庭の緑を際立たせている。2Fにフロント、1Fにロッカールームを設け、コースとのスタンスを保ち、2Fレストラン、ラウンジからは6コースのプレーが見られる。ロゴ・マークは安田町の町花であるつつじ

## 新規加盟俱楽部紹介

### 新発田城カントリー倶楽部



- 俱楽部名 新発田城カントリー倶楽部  
住 所 新潟県新発田市大字浦字城山1番地  
電 話 0254-26-3672
- 開場年月日 平成4年4月17日
- 理事長名 高橋博一郎 (S.5.6.12)  
俱楽部代表者 高橋博一郎、石井辰雄
- 俱楽部分科委員長  
競技ルーム及びハンディキャップ委員長 立川 満  
コース委員長 稲生和徳  
キヤディ委員長 吉川 篤  
ハウス及びエチケット委員長 藤井一郎  
広報委員長 近藤光雄
- 支配人名  
取締役支配人 松尾 忠 (S.27.9.18)

6. 俱楽部概要  
当俱楽部は桂・御前山自然公園に隣接し、各ホールから常磐の山々、遠く那須連峰や阿武隈山系の雄大な景観が望める静寂な地に平成4年に誕生いたしました。

- 都心から常磐高速道路水戸ICを経て約90分、水戸市の西北標高100m前後のなだらかな台地に位置しています。

コースは、世界各地でその実績を残している、バンカーの魔術師と謳われる名匠ロバートボンヘギーにその設計を依頼し、幾度となく現地を訪れて手がけていただきました。ビギナーからプロに至るまでの技量に応じて挑戦していただける本格的なレイアウトとなっております。その設計のコンセプトは、美と静寂、光と影、そしてその中に秘められた高度な戦略性を持ったコースとすることにあります。

クラブハウスは梓設計事務所に依頼したもので、周囲の景色を調和した、桂離宮をイメージした入母屋造りの佇まいを見せております。

ハウス内は、安らぎの空間を演出できる様、大きな吹き抜けのロビーとし、レストラン、浴場等ゆったりとしたスペースを確保いたしております。レストランから眺めるホール18番の夕景が、1日の疲れを癒してくれます。

### ザ・オーシャンゴルフクラブ



- 俱楽部名 ザ・オーシャンゴルフクラブ  
住 所 茨城県日立市小木津町771-1  
電 話 0294-43-8111
- 開場年月日 平成4年5月16日
- 理事長名 笠原幸雄 (T.14.1.27)  
俱楽部代表者 笠原幸雄 塚原 裕
- 俱楽部分科委員長  
フェローシップ・エチケット委員長 後藤英輔  
ハンディキャップ委員長 大森忠昭  
ルール・コンペティション委員長 日渡洋一  
プロ・キヤディ委員長 皆川節夫
- 支配人名  
取締役支配人 菅 春一

6. 俱楽部概要  
常磐自動車道日立北ICから5分（2km）、日立市街、太平洋を一望する緑豊かな高台に自然の地形を巧みに生かした工学博士滝沢克己氏の設計を清水建設㈱が丹念に手造りの趣を醸しだしているコースに仕上げました。「海、花、そして温泉」をテーマに18ホールズ全てから太平洋が咲呼の間に望め、随所に配された花木が四季折々に彩りを添えプレーヤーの心を和ませます。そしてプレー後は温泉でリフレッシュ。まさにゴルフの快感を味わうことが出来ることと思います。

コースはいずれのホールもフラットでフェアウェイは微妙なアンジュレーションがあり、ドライバーの飛距離を求めているホール。ショートアイアンの正確さを求めるホールなどが織りのように組み合わされています。

総体的にティショットの落し場所に神経を使い、セカンドはライの変化に注意、グリーンはペントの大きなワングリーンで、全てのホールが気の抜けないコースとなっております。特に9番18番はティグランドに立つと周囲の自然に美しくとけこんだクラブハウスが望め全面の大きな池とグリーンの縁が絶妙なコントラストを描いており、正確なティショットのみがパーオンを可能にする距離のある難易度の高いミドルホールです。

クラブハウスと25名宿泊できるホテルマグノリアは外観内装共パステルカラーで色は淡いピンク、華麗にして洗練された感性の光るインテリア、家具調度品、これら

## 新規加盟倶楽部紹介

が見事に調和しレディースにも親しみやすい心のくつろげる爽やかさを演出しています。



1. 倶楽部名 那須国際カントリークラブ
2. 住所 栃木県那須町那須町大字高久内
3. 電話 0287-76-2800
4. 開場年月日 昭和37年5月11日
5. 理事長名 江尻宏一郎 (T.9.9.1)
6. 倶楽部代表者 鳴澤重夫、鬼頭萬太郎
7. 倶楽部分科委員長
8. コース委員長 鳴澤重夫
9. ハンディキャップ委員長 由利淳三郎
10. フェローシップ委員長 石川良二
11. 競技委員長 鬼頭萬太郎
12. 環境委員長 赤松 龍
13. 支配人名 相澤陽一 (S.11.3.27)

### 平成6年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競技名	開催コース	
4	25	月	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	甲斐斐ヶ原 大平台 富士宮	
25	月	開東女子選手権予選			
25	月				
5	9	月	開東グランドシニア選手権	黒之台	
5	9	月	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	小金井 ロイヤルオーク レインボーポート	
13	金	9	月	開東アマチュア選手権予選	芳賀
13	金	12	月	第4ブロック 第5ブロック 第6ブロック	フォーシーズンズ 立科芙蓉
5	16	月	開東女子選手権決勝	ガーデン	
5	23	月	東京地区	八王子	
27	金	23	月	埼玉地区	狭山
23	月	23	月	千葉第1地区	ザ・鹿野山
27	金	24	火	第2地区	上総富士
24	火	24	火	神奈川地区	大相模
24	火	24	火	茨城第1地区	ザ・レイクス
27	金	24	火	第2地区	新水戸
24	火	24	火	栃木第1地区	ユーハイ
23	月	26	木	第2地区	思い川東急
26	木	24	火	群馬地区	伊香保国際
24	火	27	金	静岡地区	藤枝
27	金	24	火	長野地区	グランステージ
24	火	24	火	山梨地区	昇仙峡
H.5.9.10	金		新潟地区	新潟SP.出雲崎	

-14-

### 6. 倶楽部概要

ゴルフ場は那須御用邸に隣接した那須高原の中央に位置し、標高650米のリゾートコースであり、自然の起伏を有効に取り入れたレイアウトは各ホールとも極めて変化に富んでおり、那須岳からの風を受けたグリーンは微妙なアンジュレーションがあり、ローハンディーのプレイヤーにとっても大変難しいとの評価を受けている。

開場は昭和37年であり既に30年の歳月を経ており、昨年まではハイレベルのパブリックコースとして名声を得て来た。コースは「りんどう」「つつじ」「あじさい」の27ホールから成り、「りんどう」は距離も長く広々としたフェアウェイが展開し、最終9番ホールは那須岳を正面に仰ぎ、晴天時の眺めは一段と美しい。「つつじ」の三番池越えの打ち下ろしショートホールは砲台グリーンで正確なショットが要求され、「あじさい」9番は160ヤード地点から直角に右ドッグレッグしかも谷越えとなり、別名「アーメンコーナー」と呼ばれる名物ホールである。

クラブハウスは8年前に全面改築したリゾートコース向、明るいモダンな中にも落ち込んでいる雰囲気があり、39室のロッジも同時期に併設した。

ゆっくり温泉に入った上でゴルフを楽しみたい方には、車で5分の那須温泉に直営の和風旅館「山楽」があり、四季折々の旬の懐石料理と大野天風呂で知られている。

## 常務理事会・委員会

### 平成5年度 第1回常務理事会 議事録

日 時 平成5年9月20日（月）午前10時30分  
場 所 ホテルニューオータニ 雲海の間  
出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、福田、北村、小宮山、松野、鍋島、尾関、斎藤、玉井、内田、渡邊各常務理事、海老原、広中、鬼沢各理事（新規加盟申請倶楽部推薦理事）  
定刻、細川理事長議長となり、開会を宣し、順次議題審議を行った。

#### —討議及び決議事項—

##### 1. 新規加盟申請倶楽部入会審査の件

9月20日現在、申請のあった次記7倶楽部の入会について、慎重審議の結果、これを承認した。

- ①神鳥谷カントリー倶楽部（栃木県）
- ②北浦ゴルフ倶楽部（茨城県）
- ③イーストヒルゴルフクラブ（新潟県）
- ④桂ヶ丘カントリークラブ（茨城県）
- ⑤新発田城カントリー倶楽部（新潟県）
- ⑥ザ・オーシャンゴルフクラブ（茨城県）
- ⑦那須国際カントリークラブ（栃木県）

これによって加盟総倶楽部数は459倶楽部となった。

##### 2. (財) 日本ゴルフ協会普通会員入会審査の件

9月20日現在、入会申請のあった青木功氏他169名の審査を行いこれを承認、JGAに届けを提出することとした。

##### 3. (財) 日本ゴルフ協会評議員候補選任の件

選任については、理事長、副理事長一任と議決され、協議の結果、次記13名を候補としてJGAに届けを提出した。

藤井英男（桜）

藤原正男（諏訪湖）

福井政男（相模）

堀切治雄（龍ヶ崎）

堀 正彦（小金井）

石川 周（大洗）

小宮山義孝（武蔵野）

小西達司（我孫子）

森村太華生（保ヶ谷）

尾関秀夫（武藏）

利光達三（富士小山）

玉井英二（霞ヶ関）

山崎國雄（那須）

##### 4. 平成5年度「関東オープンゴルフ選手権競技」収支概算報告

事務局長より別紙の収支概算書をもとに詳細な報告がなされ、これを承認した。また、チャリティ募金、及び寄金についても同様の報告、説明がなされ、これを承認した。

##### 5. 平成5年度「関東オープンゴルフ選手権競技」分担金未払い倶楽部の件

事務局長より平成5年9月17日現在の入金状況の報告、説明がなされた。

討議の結果、9月末日に再度入金状況をチェックし、未払い倶楽部については、各都県常務理事、理事より要請し、その結果を待ち、善後策を検討することとした。

##### 6. 平成6年度「関東オープンゴルフ選手権競技」の件

尾関常務理事（5年度オープン準備委員長）により、次回報告、提案がなされた。

「9月4日、栃木県滝沢常務理事、広中理事より次回の申し入れがあった。

①開催倶楽部は都賀カントリー倶楽部とする。

②経費分担は、平成5年度に準じるもの、広告料については、栃木県ゴルフ場協議会として一括負担する。

そのため、KGA未加盟倶楽部についても、ポスター、プログラム等に掲載されたい。

③前売券販売については、今年度同様各倶楽部にて行う。

以上の報告をもとに、討議の結果、これを承認、具体的な開催方式等については、6年度準備委員会にて、策定することを確認した。

##### 7. 平成6年度連盟主催競技開催倶楽部、及び日程の件

別紙のとうりのものを承認した。（14頁参照）

##### 8. 分科委員会報告、ならびに提案

###### ①競技委員会

尾関委員長より次期提案がなされ、これを承認した。

「平成5年9月6日付、JGA競技委員会決定通知によれば、平成6年10月に「シニア・ウィークリー」を設け、次記の年齢別競技を開催すること

平成5年11月15日現在 \*一部変更になる場合があります。

# 常務理事会・委員会

が決定されている。

イ.日本シニア選手権（満55歳～64歳、JGAハンディ12）

ロ.日本ミッドシニア選手権（満65歳～69歳、JGAハンディ12）

ハ.日本グランドシニア選手権（満70歳以上、JGAハンディは地区連盟一任）

上記の決定に準じ、連盟も各々の関東選手権を開催したい。そのため先ずは出場希望者を早急に掌握する必要があり、加盟俱楽部にアンケート調査を行う。その結果をみて、具体的な開催方式、実施規定を策定したい。」

## ②ハンディキャップ委員会

渡邊委員長よりアンケート調査による、各都県別、JGAハンディキャップ実施状況の報告がなされ、これを承認した。

また、

イ.12月10日発行予定の「KGAニュースNO.45」にレジメ、及び今後の方針を掲載する。

ロ.これまで、未実施俱楽部からの連盟主催競技出場希望者のためのハンディキャップ査定は事務局において行ってきたが、平成6年度を移行期間とし、7年度以降は行なわないこととする。

## ③規約改正委員会

松浦委員長より次記の報告がなされ、これを確認した。

イ.これまで、3回にわたり委員会を開催したが、細川理事長より示されたKGAの活動方針に基づき、

i. 組織の強化

ii. 財政基盤の強化

iii. 執行力の強化

を期するために、必要な規約改正を行なうことを基本方針として、作業を進めている。今後、総務委員会、常務理事会、理事会の審議を経て、総会にて決議いただくことになる。

## ④ジュニア育成委員会

松野常務理事より、別紙④の総括報告、及び今後の協力依頼がなされ、これを確認した。

以上をもって、議案審議を終了、細川議長12時閉会を宣した。

## 平成5年度第3回競技委員会正副委員長会議 議事録

日 時 平成5年11月11日（木）正午

場 所 KGA会議室

出席者 尾閑委員長、新井（昌）、新井（安）、山田副委員長  
平山、市川、織戸各班バイスキャップ

### ——討議及び決議事項——

#### 1.5年度主催競技総括

尾閑委員長より以下の総括がなされた。

「今年度主催競技は委員諸氏ならびに開催俱楽部の協力により無事終了することができた。感謝の意を表したい。次年度も万全の体制で臨みたい。」

また、事務局長より次記の報告がなされた。

「各競技の参加者数は、別資のとおりであるが、関東女子の減数が目立つ。これはジュニア、学生が多数参加し、好成績を占める傾向が一段と高まったこと、開催俱楽部の所在地が原因と推察される。一方、シニアは年齢を55歳に引き下げたことにより、多数の参加が予想されたが（アンケートでは1,300名）結果的には700名であった。このことにより、開催俱楽部借用ホール数を減らすことになり、迷惑をかける結果となった。

関東シニア決勝について、距離が長い（6,652ヤード）というクレームが出場者より寄せられた。期初の委員会で確認した、関東アマはバックティ、関東シニア6,400ヤード、女子6,100ヤード、関東グランドシニア6,000ヤードを原則的に導守することを再確認いただきたい。」

#### 2.6年度主催競技日程および実施規定について

6年度日程については、別紙のとおり既に決定しているがシニア競技については、JGAの競技の新設等により、実施規定を含め再検討が必要となった。修正案は事務局にて策定し、当委員会で検討することとなった。

また、委員会にて下記の事項が確認された。

・シニア参加希望者数アンケート調査には、11月10日現在加盟454俱楽部のうち38%の174俱楽部より回答があった。それによると、シニアの部786名、ミッドシニアの部271名、グランドシニアの部256名という参加希望者数であるが、何分回答

率が38%と低いため参考にはならない。

再度俱楽部にはアンケートの調査を行うが、回答の結果によっては、予選会場の増減、実施規定等の検討を要する。

・各競技におけるJGAハンディキャップの制限は関東女子18、関東アマ8、関東シニア12、関東ミッドシニア12、関東グランドシニア15とする。女子の18はJGAの勧奨（15）とは異なるが、今年度の参加者減を考慮したことである。

・グランドシニアは申込者の増に伴い予選を希望する声もあるが、JGAグランドシニア選手権も新設されることもあり、上記ハンディキャップとして参加者をしぶり、予選は行わない。

・7年度は、36ホールのゴルフ場にて、「シニアウイーク」と名称し、関東シニア、関東ミッドシニア、関東グランツニア決勝競技を同期日に開催する。

#### 3.5年度JGA第3回競技委員会報告

配布議事録を基に、尾閑委員長より次記の報告、提案がなされ、これを確認した。

##### ①年齢別シニア選手権について

参加年齢は、JGA案どおりとした。但し、開催期日は従来どおりとする。

②日本アマ、日本女子、関東地区割当数について  
日本アマ28名、日本女子42名、それぞれシード選手を含む事を確認した。

##### ③競技成立条件について

JGA案をもとにKGAの実情を踏まえ、事務局にて案を作成することとした。

##### ④競技特別規定について

JGA案どおりとした。

##### ⑤競技管理基準について

JGA案どおりとした。ただし、ホールロケーションズシートについては、関東オープンを除き従来どおりとした。

##### ⑥JGA主催競技日程について

JGA案を確認した。

##### ⑦タイムキーパーについて

KGAは不採用とした。

#### 4.アンダーハンディ競技について

事務局より以下の提案がなされた。

「現在KGAにおけるJGAハンディキャップ採用  
俱楽部はハンディキャップ委員会の永年の啓蒙促進活動が実を結んで、454俱楽部中395俱楽部

（実施率87%）となり、内容については、まだ完全とは言えないにしても、曲がりなりにも一応の目標を達成したと考えられる。したがって、かねてより懸案のアンダーハンディ競技の実施を検討していただきたい。」

この提案をうけ、各委員慎重討議の結果、尾閑委員長より以下の提案がなされこれを承認した。

「一般ゴルファーが参加できる競技は必要である。また、そのことは、JGAハンディキャップの普及、競技人口の増加につながり、KGA、JGAの存在意義を認識させることにもなり、前向きに検討したい。そのため、当委員会、ハンディキャップ委員会より数名の委員を選出し、アンダーハンディ競技実行小委員会をつくり、検討いただきたい。また当委員会としては山田副委員長にキヤップをお願いし、※委員の人選は一任したい。

#### 5.ルール研修会および「競技運営読本」の発行について

事務局より以下の提案がなされ、全委員これを承認した。

「ルール研修会は、平成6年3月頃の開催したい。

また、俱楽部の競技委員、キヤディのための「競技運営読本」（仮称）の編集発行が広報委員会にて企画され競技委員会と共同編集したいとの提案があった。当初は、田村ルーリング委員長参画をお願いしたが、体調不良のため、新井安寿副委員長に参加いただきたい。」

※11月12日次記3名が選任された。

平山誠一、野口正三、織戸總三郎

## 平成5年度第2回ハンディキャップ委員会 議事録

日 時 平成5年7月29日（木）正午

場 所 ダイヤモンドホテル 会議室

出席者 渡邊委員長、原・原田・宮元・大原各副委員長、斎藤、吉澤、状見、濱崎、早川、龟田、小林、三宅、永田、成宮、西、鈴木、田原、寺田、白井、山田、横内 各委員

福田（豊）、八木両参与

福田顧問

# 常務理事会・委員会

## —討議及び決議事項—

### 1. 第3回JGAハンディキャップアンケート最終回答 の集計報告の件

渡邊委員長より、事前に各委員に配布した、「第3回アンケートの最終集計報告書」の説明がなされた。

これをうけ、各委員活発な意見交換がなされた。おもな意見は下記のとおり

- ・未実施俱楽部を一堂に集め、説明会を開くべきである。
- ・班別に実情調査をすべきである。

- ・未実施俱楽部のJGAハンディキャップ査定を本年度で打ち切るべきである。

討議の結果、加盟俱楽部に対して、「第3回アンケート結果報告書」を送付しその結果を見るところとした。

また、その内容については、正副委員長に一任することを確認した。

## 5年度第5回コース・レート委員会

### 議事録

日 時 平成5年10月8日（金）正午

場 所 KGA会議室

出席者 新井委員長、北村、諸戸副委員長  
前川、松岡、中川、大久保各委員

## —討議及び決議事項—

### 1. ザ・オーシャンゴルフクラブ以下8俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

#### (1)ザ・オーシャンゴルフクラブ

##### ペントグリーン

バック・ティ	71.9
レギュラー・ティ	69.9
フロント・ティ	68.0

#### (2)湯田上カントリークラブ

##### 護摩堂・紫陽花

##### ペントグリーン

バック・ティ	70.7
レギュラー・ティ	68.9
フロント・ティ	67.2

##### 護摩堂・信濃川

##### ペントグリーン

バック・ティ	70.8
レギュラー・ティ	68.8
フロント・ティ	67.1

紫陽花・信濃川	
ペントグリーン	
バック・ティ	71.7
レギュラー・ティ	69.6
フロント・ティ	66.8

#### (3)箱根五頭ゴルフ俱楽部

五頭・白鳥	
ペントグリーン	
バック・ティ	70.6
レギュラー・ティ	69.4
フロント・ティ	68.2

#### (4)五頭・阿賀

ペントグリーン	
バック・ティ	69.7
レギュラー・ティ	68.3
フロント・ティ	67.3

#### (5)白鳥・阿賀

ペントグリーン	
バック・ティ	70.1
レギュラー・ティ	68.6
フロント・ティ	67.6

#### (6)新発田城カントリー倅樂部

ペントグリーン	
バック・ティ	72.1
レギュラー・ティ	69.2
フロント・ティ	68.0

#### (5)イーストヒルゴルフクラブ

ペントグリーン	
バック・ティ	72.0
レギュラー・ティ	70.1
フロント・ティ	68.3

#### (6)URAKUゴルフクラブGOTIMBA

ペントグリーン	
バック・ティ	70.3
レギュラー・ティ	68.6
フロント・ティ	66.8

#### (7)アルパインカントリー・ゴルフクラブ

ペントグリーン	
バック・ティ	71.7
レギュラー・ティ	69.8
フロント・ティ	68.9

# 常務理事会・委員会

## (8)グランステージカントリークラブ丸コース

みまき・さくら

ペントグリーン

バック・ティ	71.0
レギュラー・ティ	69.0
フロント・ティ	65.2

みまき・ふじ

ペントグリーン	
バック・ティ	71.7
レギュラー・ティ	69.3
フロント・ティ	65.7

さくら・ふじ

ペントグリーン	
バック・ティ	71.4
レギュラー・ティ	69.1
フロント・ティ	65.6

## 3.10月8日現在申請中の東松苑ゴルフ倅樂部以下3

俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

東松苑ゴルフ倅樂部	11月1日（月）
岩間カントリークラブ	11月17日（水）
サミットゴルフクラブ	11月24日（水）

開催日 平成5年10月29日（金）

コース 高坂カントリークラブ（米山コース）

エントリー 117名

（男子80名、女子37名）

欠席者数 事前連絡10名

（男子7名、女子3名）

当日連絡 0名

無断欠席 1名

出場者数 106名

（男子72名、女子34名）

科罰者 1名（遅刻）

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 0名

## 2.11月例出場者資格者報告の件

次回委員会にて報告

## 3.11月のテーマ

○ティ・グラウンドの前方を横切らない

○ボール・マークの修復の徹底

## 平成5年度第3回広報委員会

### 議事録

日 時 平成5年8月23日（月）正午

場 所 KGA会議室

出席者 宮元副委員長、石川、片山、杉山、山田各委員

## —討議及び決議事項—

### 1.KGAニュースNo.43総括

「俱楽部対抗」「関東女子」「関東アマ」各々の競技の雰囲気、抱えている諸問題が盛り込まれており、充実した号となった。

また、カコミ記事、特に関東女子開催倅樂部、佐倉カントリー倅樂部首藤理事長のインタビュー記事は、よくまとまっていた。

尚、前回委員会で決定した、新連載「ゴルフ場花鳥風月」は適当な筆者（ナチュラリスト）が見当たらず、6年度よりスタートすることを確認した。

### 2.KGAニュースNo.44企画案

事務局立案の、関東オープン特集号としての企画案を検討し、これを承認した。企画詳細は、別紙のとおりである。

### 3.キャディーの為の「ルール読本」について

# 常務理事会・委員会

HDCP委員会編の「ハンディキャップ読本」が大好評であり、同種企画の編集・発行を望む声が多くある。当委員会としては、競技委員会と協同して、標題の小冊子を年内に発行することを決議した。一定部数を加盟俱楽部に無料配布するが、費用については、広報予算の一部を充当することとした。また、編集責任者に宮元副委員長があたることとなった。

## 平成5年度第4回広報委員会 議事録

日 時 平成5年11月1日（月）午後3時30分  
場 所 KGA会議室  
出席者 内田委員長、宮元副委員長、  
舟橋、石川、片山、杉山、和田、山田各  
委員

### —討議及び決議事項—

## お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」の変更事項は、次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

### 支配人

- 柏ゴルフ俱楽部  
(新) 中村 協三 (旧) 田口 正
- 柿ヶ崎カントリー倶楽部  
(新) 藤田 宏俊 (旧) 大野 恒幸
- 東千葉カントリー倶楽部  
(新) 山老 浩志 (旧) 池田 進
- 南総カントリークラブ  
(新) 幾代 泰臣 (旧) 牧野 泰臣

### HDCP

- 安曇野とよしなゴルフ俱楽部 ▲→●
- 蓼科高原カントリークラブ ▲→●
- 八ヶ岳高原カントリークラブ ▲→●
- 宇都宮カントリークラブ ▲→●
- 早月ゴルフ俱楽部 鹿沼コース ▲→●
- 東松苑ゴルフ俱楽部 ▲→○
- 那須チサンカントリークラブ ▲→● (予定)
- 東宇都宮カントリークラブ ▲→○ (予定)
- ヒルクレストゴルフクラブ ▲→●
- 金乃台カントリークラブ ▲→● (予定)

- 新茨城カントリークラブ ▲→●
- タイホーカントリークラブ ▲→●
- ニッソーカントリークラブ ▲→● (予定)
- 富士カントリー笠間俱楽部 ▲→●
- 美里ゴルフ俱楽部 ▲→● (予定)
- 房総カントリークラブ ▲→●
- 赤羽ゴルフ俱楽部 ▲→○
- 相模原ゴルフ・クラブ ▲→●
- 東京カントリー倶楽部 ▲→● (予定)
- 神島谷カントリー倶楽部 ○
- イーストヒルゴルフクラブ ○
- 新発田城カントリー倶楽部 ○

### 東京事務所

- 鷺ゴルフ俱楽部  
(新) 〒100 千代田区永田町2-14-3  
赤坂東急プラザ11F (赤坂東急ホテル)  
TEL: 03-5512-1661 FAX: 03-5512-1660
- 森林公園ゴルフ俱楽部閉鎖

### [訂正]

KGAニュースNo.44にて箱根カントリー倶楽部の東京事務所を閉鎖とお知らせしましたが、本社の移転であり事務所はそのまま開設しております

平成5年12月1日発行 KGAニュース No.45

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391  
発行人／細川護貞 編集／広報委員会